



2020年（令和2年）12月15日 // 火曜日 // 第6号

# プレジール通信

“プレジールのいま”を（不）定期的にお伝えします。

## Goodbye 2020!

早いもので、2021年まであと2週間ほど。本来であれば東京オリンピックが想像以上に盛り上がり、日本人選手がこんなにも多くの種目で金メダルを獲得するとは…などと振り返る頃だったはずですが、マスク、手洗い、うがい、消毒、密を避けるのが当たり前な日常になるとは思いも寄りませんでした。皆さまに置かれましては、どのような2020年となったでしょうか？

この1年で、「オンライン」が一般的なものとなり、ショッピングだけでなく、打合せも、会議も、授業も、セミナーも、コンサートも、ましてや旅行体験までも「オンライン」で行われるようになりました。しかし弊社では、「オンライン」での打合せを1度も経験出来ないまま2020年を終える事になりそうです・・・。

バッグ制作において、バッグのデザイン、素材選び、柄の取り方などをオンライン上の会話だけで決定する事はなかなか難しいのかも知れません。弊社で、或いは、お取引先様の事務所や店舗でのリアルな打合せをさせて頂くばかりな1年でした。

偶然なのかも知れませんが、2020年を振り返ってみると、個人の方にも、法人の方にも、結果的に「究極の逸品」をお作りする事が大変多かった1年となりました。大変高価な素材や唯一無二の素材を使ったバッグ作りに携わらせて頂く機会に多く恵まれた一年でした。日本の織物、海外の織物の素晴らしさに改めて気付かされる1年にもなりました。

2021年、バッグ製品の充実を図るか！等と何か新しい試みをお考えのお取引先様も、益々、弊社でお役に立てそうですよ。

今年1年でバッグ制作のノウハウが更に積み上がった弊社への制作のご依頼をお待ちしております。

今年も1年、大変お世話になりました。どうぞ、幸多き良い新年をお迎え下さい。

TAMOTO



弊社オリジナル新商品「TAMOTO」。新しい、ポケットタイプのバッグです。

## 新登場！！「TAMOTO」がわりに、どうぞ。

これまでにないほどに増した自由時間を利用し、弊社では、新たなオリジナル商品を作ろう！と考えました。

7月に参加したオンラインセミナーをきっかけに、デザイン会社の方と知り合う機会に恵まれ、生み出した商品が、この「TAMOTO」です。

明治時代に女性の間で大流行した江戸袋物「合切袋」をアレンジし、弊社オリジナル商品「ミナレス合切袋シリーズ」を生み出したのは3年ほど前のこと。その派生商品として生まれた「TAMOTO」は、「合切袋」と同様の縫製方法や紐通しの部材「コキ」を使用している一方で、サイズや素材、そして何より使い方が大きく異なります。

昨今、余計なものを持たないシンプルなライフスタイルを楽しむ人が増え、携帯電話とカード1枚だけを持って出掛けるファッションスタイルを望む人も多くなっています。ポケットが膨らんでしまうのは格好悪いと言う意見が多いと聞き、だったらポケットがわりにコートの下に忍ばせるように使うバッグがあっても良いのでは？という発想から生まれたのが、この「TAMOTO」なのです。

「TAMOTO」のサイズは縦23cm、横13cmほど。マチの無いスッキリとしたデザインで、まさにポケットがわりに提げてお使い頂けます。

スタイル、表素材、裏地素材、紐を、それぞれいくつかのパターンの中からお客様にお選び頂き、カスタムメイドを楽しんで頂けます。

表素材には、昨今、欧米を中心に、環境破壊の見地から注目されているエコレザーを準備、裏地素材にはナイロン製のバッグ用裏地のほか、希少な米沢織や西陣織の利用も想定し、無駄がなく環境に優しいモノづくりにこだわっています。

商品箱として桐箱を用意、それらを並べる台も桐箱で作りました。日本ならではの袋物文化のみならず、箱文化も身近に感じて頂こうと考えており、

「TAMOTO」を通じて改めて日本の「文化」を感じて頂きたいのです。

弊社では現在、この「TAMOTO」を取り扱って頂けるお店を募集しております。

お気軽に弊社までお問合せ頂けますと幸いです。

ご連絡をお待ちしております。